



カケハシ・プロジェクト（派遣プログラム）の記録 対象：沖縄プログラム（米国）

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国へ沖縄県の高校生および引率者計 50 名が派遣され、日本の政治、経済、社会、文化、歴史に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、2019 年 10 月 23 日～10 月 30 日の日程でプログラムを実施しました。

一行は、学校交流で日本の魅力を紹介するプレゼンテーション及び実演を行い、視察先では米国や日米両国の関係について理解を深めました。プログラム中、各々の関心事項や体験について SNS を通じて積極的に対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪米経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加団体・人数】

沖縄県立開邦高等学校：25 名

沖縄県立名護高等学校：25 名

【訪問地】

ワシントン州（開邦高等学校）

オレゴン州（名護高等学校）

2. 日程

1) 開邦高等学校：ワシントン州

10/23(水)	【到着】 【視察】 パイク・プレイス・マーケット 【オリエンテーション】
10/24(木)	【表敬訪問】 在シアトル日本国総領事館 【講話】 沖縄県人会（在シアトル日本国総領事館） 【企業訪問】 東レ・コンポジットマテリアルズ・アメリカ社
10/25(金)	【学校交流】 カーティス高校
10/26(土)	【ホームステイ】
10/27(日)	【ホームステイ歓送会】 カーティス高校 【ワークショップ（報告会準備）】
10/28(月)	【成果報告会】 【交流】 ワシントン大学
10/29(火)	【出発】
10/30(水)	【帰国】

2) 名護高等学校：オレゴン州

10/23(水)	【到着】
10/24(木)	【オリエンテーション】 【講義】 在ポートランド領事事務所 【企業訪問】 味の素ノースアメリカ社 【表敬訪問】 在ポートランド領事事務所
10/25(金)	【学校交流】 チャーチル高校
10/26(土)	【ホームステイ】
10/27(日)	【ホームステイ歓送会】 チャーチル高校 【ワークショップ（報告会準備）】
10/28(月)	【成果報告会】 【視察】 ポートランド州立大学
10/29(火)	【出発】
10/30(水)	【帰国】

3. プログラム記録写真

1) 開邦高等学校：ワシントン州

	
10/24【表敬訪問】 在シアトル日本国総領事館	10/24【視察】 東レ・コンポジットマテリアルズ・アメリカ社
	
10/25【学校交流】 カーティス高校	10/27【歓送会】 カーティス高校



10/28【成果報告会】



10/28【交流】ワシントン大学

2) 名護高等学校：オレゴン州



10/24【表敬訪問】
在ポートランド領事事務所



10/24【企業訪問】
味の素ノースアメリカ社



10/25【学校交流】チャーチル高校



10/27【ワークショップ（報告会準備）】



10/28 【成果報告会】



10/28 【視察】ポートランド州立大学

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 今回の訪問を通じて印象に残ったことは、米国では、人の意見や努力を認めたり、褒めるような発言をよくしていたことです。私たちがカーティス高校で発表した時に、一人の生徒が「素敵なプレゼンテーションをありがとう」と褒めてくれて、クラスの皆さんが拍手をしてくれました。私は発表する時に上手く伝わるか不安だったのですが、カーティスの生徒が真剣に聞いてくれたので嬉しかったです。また、ホストファミリーからも「見知らぬ人のところに滞在するあなたは勇敢ね」と声をかけていただき、自分の行動を褒められたことに驚きました。ホストファミリーと過ごしてみて、「どちらでもいい」という言葉が通用しないことが印象に残りました。聞かれたことに対して意見を言えないということは、そのことに興味がないのと同じなのかもしれないと気づかされました。またホストファミリーとの交流を通して、知りたいという意欲がとても強いという意識を感じました。例えば、新しく知った単語などをすぐにメモしていたり、買い物に行く時も、日本語学習用のノートを持ち歩き、知っている日本語を使って一生懸命話してくれました。この賢明さや好きという気持ちが、日本語の習得にとっても大きく関わっているのだと感じ、私もこういうふうにコツコツと頑張りたいと思いました。

◆ ホームステイでホストファミリーがとても親切にしてくれて、アメリカの生活や文化をたくさん見ることが出来てとても嬉しかったです。日本でアメリカのことをたくさん調べていて、イメージしていたとおり、アメリカの人は本当に明るくて、優しく、とても素敵な方々でした。また学校交流ではアメリカの現役の高校生と直接交流でき、とても嬉しかったです。英語でプレゼンテーションを行うのはとても緊張しました。現地の高校生も一生懸命日本語で話そうとしてくれて本当に嬉しかったですし、とても嬉しかったです。企業訪問の味の素訪問では、工場も見せてもらい、とても貴重な経験になりました。ベトナムの方が多く働いていると聞いて、出稼ぎに来ているのかなと思いました。日本の会社が世界でも活躍していることはとてもすごいことだと思うので、これからも頑張りたいです。私たちももっと日本のことを誇りに思うべきだと思います。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 学校交流参加学生（開邦高等学校：ワシントン州）

日本の高校生の英語力はとても素晴らしかったです。学校での発表も興味深く相互的なものでした。特に視覚的効果が良かったです。礼儀正しく、全ての質問に一生懸命答えてくれて、どの質問に対してもオープンでした。礼儀正しく丁寧で、アメリカやアメリカの文化を学ぼうという意欲が高く、日本に対して素晴らしい印象を受けることができました。ホームステイ中、私たちはアメリカと日本の相違点や類似点を比較しました。それにより、私や私の家族が、日本について、そしてアメリカ文化と似ている点について学ぶことができました。

◆ 学校交流参加学生（名護高等学校：オレゴン州）

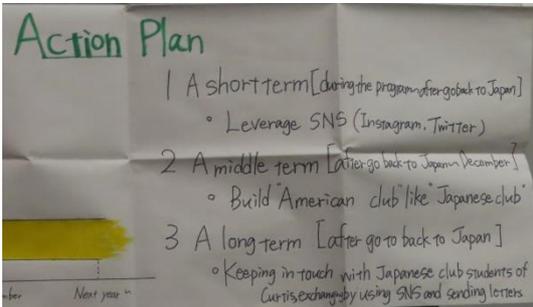
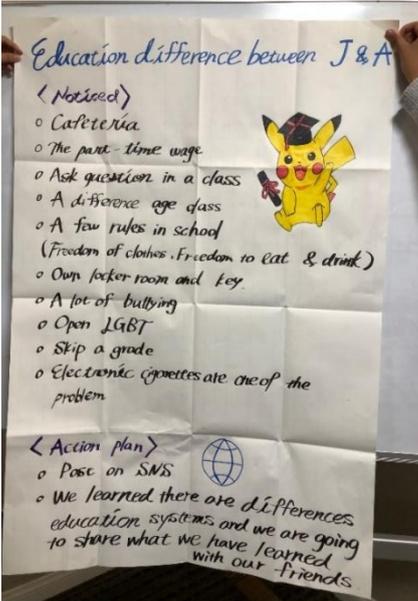
日本人学生の一人が空手を見せてくれました。私は、この武術を間近で見ることができてとても興味深く、カッコいいと思いました。パフォーマンスを通して日本文化の一端を知ることができたことは、大変素晴らしいことでしたし、楽しいことだと思いました。プログラムもよかったです。私たちは、日本について学び、日本の学生は、アメリカについて学び、お互いにとても楽しく知識を得ることができました。もう一度このような機会を持ちたいです。

6. 参加者の対外発信

 <p>ayy_bruno他が「いいね！」しました miyu47371 did homestay for 3 days from October 25th to October 27th. My homestay host was Melody. Melody was a very cute and kind person.</p>	 <p>We will go to Japanese Consulate General and the Japanese Company To-re(東レ) #KAMEHASHI2019</p> <p>昨日、前報を聞いた後に来社という日本の企業を訪れました。東レは化学技術を駆使して、高機能製品の開発に取り組んでいます。ワシントン州の東レで働いている日本人は予想以上に多く、彼らの経歴を詳しく聴くことができ、改めて進路を考え直す良い機会となりました。</p>
<p>ホームステイについての発信 (Instagram) 10月25日から10月27日の3日間ホームステイをしました。私のホームステイ先のホストはメロディーでした。メロディーはとても可愛くて優しい子でした。私は上手く英語が喋れなかったけどメロディーはちゃんと最後まで話を聞いてくれました。上手く聞き取れず何度も聞き返した時も理解できるまで何度も言って</p>	<p>企業訪問についての発信 (Instagram) 昨日は東レという日本の企業を訪れました。東レは化学技術を駆使して、高機能製品の開発に取り組んでいます。ワシントン州の東レで働いている日本人は予想以上に多く、彼らの経歴を詳しく聴くことができ、改めて進路を考え直す良い機会となりました。</p>

くれました。今回のホームステイで自分の知っている単語を使って会話ができたので嬉しかったです。12月にメロディーと再会するのをとても楽しみにしています。メロディーとホストファミリーそしてメロディーの友達、本当にありがとうございました。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	
<p>アクション・プランの発表（開邦高等学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に4回、カーティス高校に日本文化や日本の学校、最近のニュースなどを英語で書いた新聞を送り、日本のことを知ってもらう。 ・インスタグラムやツイッターで日本の情報を発信する。 ・英語に興味がある人を募ってアメリカンクラブを作り、12月にカーティス高校の生徒を一緒におもてなしする。 ・カーティス高校のジャパニーズクラブのメンバーとSNSや手紙で連絡を取り合う。 	<p>アクション・プランの発表（名護高等学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSで発信する。 ・アメリカで学んだ日米の教育制度の違いを友人に伝える。